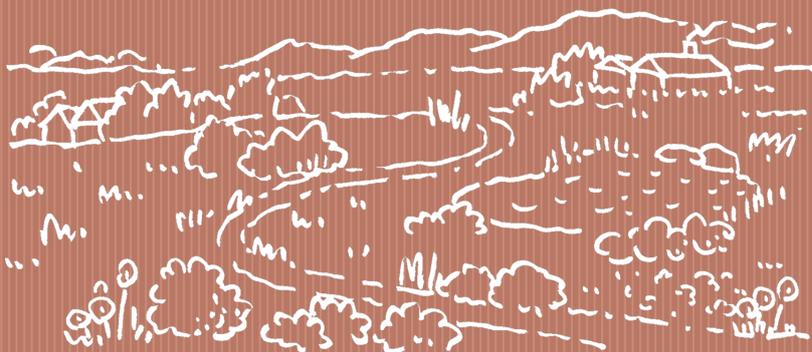


ばんけい

教育ほんといっしょ  
かわら版こみち  
教育の小径 No.97  
2016 November  
11月号国士舘大学教授  
北 俊夫先生

今月のごま

いちりゅうまんばい  
一粒万倍

1粒の種子が万倍の粒にもなるということから、僅かなものでも増えて多くのものになることをいいます。たとえ少しであっても粗末にしてはならないという意味でも使われます。

## 自学力と共学力

- 自学力とはひとりで学ぶ力のこと、共学力とは友だちと協力し合って学ぶ力のことです。社会人になるためには、両方の力が必要です。
- 日々の授業においては、ひとりで学ぶ場面とみんなで学ぶ場面とを効果的に組み合わせることによってアクティブなラーニングになります。

今月の  
記念日レントゲンの日  
(11月8日)

1895年(明治28年)のこの日に、ドイツの物理学者レントゲンがX線を発見しました。X線は当初「正体不明」な光という意味で名づけられたといわれています。

## 自学力とは何か

自学とは他人に頼らずに、自ら学ぶことをいいます。自学力とは「ひとりで学ぶ力」のことです。自立・自活するための重要な要素です。自学自習という言葉のように、自学は自習とほぼ同義語です。

これまでも「自ら課題を見つけ」とか「自ら学び、自ら考える」、「主体的に判断し」などと、「自ら」や「主体的に」が強調されてきました。これらはすべて自立的な学習態度を養うことを求めているものです。

学習は個別に成立するという原則に立つと、自学力は、いまの学習を充実させるために生かされるだけでなく、将来にわたって生涯学習に取り組む際に必要となるものです。

自学力を育てるために何より大切なことは、子ども一人一人に目的意識をもたせることです。何のために学ぶのか、何を学ぶのかを明確に意識していなければ、自ら学ぼうとする意欲も実践力も生まれません。子どもたちに問題意識をどうもたせるか。問題解決への意欲をどう高めるか。ここに授業づくりのポイントがあります。

これまでのわが国においては、学習内容と比べて、問題解決の仕方など学習方法に対する指導が必ずしも十分で

なかったという指摘があります。自ら学習に取り組むようにするためには、学び方を身に付ける指導の充実が求められます。これは「一匹の魚」を与える指導ではなく、「魚のとり方」を習得させる指導です。

## 共学力とは何か

一方、共学とは友だちと協力し合って共に学ぶことをいいます。共学力とは「みんなで学ぶ力」のことです。最近、協同(協働)的に取り組む態度を育てるなどといわれていますが、これに近い意味を含んでいます。

具体的には、学習の場で学び合い、支え合い、認め合う活動が展開されます。グループでの作業や実験、実習なども行われます。こうした場では、多様な考えを調整したり、自分の考えや行動を引き留めたりすることも求められます。これによって、みんなで協力し合いながら、よりよい結果を生み出すことができます。みんなが成長していくことができるようになります。

これは社会生活を営むうえでも大切な資質・能力であるといえます。学校や学級は「小さな社会」といわれるように、多様な子どもたちで構成されています。友だちと協力し合いながら学ぶことは、学校ならではの学習スタイルです。家庭や学習塾での学習では体

験することができません。

## 自学と共学の協働

アクティブ・ラーニングが話題になっています。これは「主体的・協働的に学ぶ学習」といわれています。最近では、「協働的」に変わって、「対話的」ともいわれています。主体的とは自立した学習であり、協働的とは友だちと共に学習することです。自学と共学の一方に偏ることなく、両者のよさを生かし関連づけた授業を構成したいものです。これによって学習が深まりのあるものになります。

具体的には、まず自分の考えをしっかりもつ。次にそれらを発表し合い、友だちの考えを聞き合う。そして、自分の考えをより確かなものにする。これは自立を促すものです。

これに対して、友だちと多様な考えを出し合いながら、みんなでよりよい考えを生み出していくという、協働的で創造的な学習を展開する学習があります。

日々の授業において、ひとりで自立して学ぶ場面と、みんなと協力し合って学ぶ場面の両者を効果的に組み入れます。このことが将来の社会人を育てることにつながるからです。特に共学力を育てることは、学校教育の役割を果たすためにも大切なことです。

# 学校の危機管理

## 備えあれば憂いなし

学校は社会的な存在です。自然現象や社会の出来事など周囲のさまざまな動きと無関係には存在しません。これは危機管理が求められる外的な要因です。また学校のうちに目を転じると、学校には多くの子どもたちが在籍し、常に活発に活動しています。子どもは一人一人が実に多様な存在です。日々変化し成長しています。これは危機管理が必要となる内的な要因です。

こうした学校のもつ特性から、学校はさまざまな危機的な状況や問題場面に遭遇する場だと受けとめることがまず大切です。学校は決して社会から切り離された、聖域ではありません。

わが国では、地震や津波、風水害や雪害、土砂崩れなどさまざまな自然災害が起きます。火災や交通事故など人災が発生することもあります。不審者への対応も求められます。理科の実験や家庭科の実習、図画工作科の造形活動、体育科の実技などではけがの心配があります。事故は授業中にも起こります。食べ物の嘔吐や急な発熱など、病気を発症する子どももいます。

わが国には「備えあれば憂いなし」という言葉があります。これはあらゆることにいわれますが、特に災害や事故、事件に対しては、万が一に備えておくことが大切です。ここでいう備えとは、物的、人的な側面があります。物的な備えとは災害や事故などが起こったとき最小限度に食い止めるために施設や設備を整備し、必要となる食べ物や薬、備品などを用意しておくことです。一方、人的な備えとは、発生時における人の動きを想定した体制（マニュアル）をつくっておくことです。

予防こそ最大の危機管理です。

# 教育の動向



## プログラミング教育

文部科学省に設置されていた「小学校段階における論理的思考力や創造性、問題解決能力等の育成とプログラミング教育に関する有識者会議」は議論の内容をとりまとめ公表しました。

小学校におけるプログラミング教育は、子どもたちがコンピュータに意図した処理を行うよう指示できることを体験させながら、「身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くこと」「基礎的な『プログラミング的思考』を身に付けること」「コンピュータの動きを自分の生活に生か

そうとする態度を身に付けること」を目指しています。

「プログラミング的思考」とは、情報技術を手段として使いこなしながら、論理的・創造的に思考して課題を発見・解決し、新たな価値を創造する力のことです。情報を読み解く力や学んだことを生かそうとする力とともに、これからの社会において必要となる資質や能力であるとしています。特定の技術や個別のプログラミング言語を身に付けることではないとしています。

実施の必要条件として、ICT環境の整備、教材の開発、教員の養成・研修、指導体制の充実、社会との連携・協働をあげています。とりまとめには理科、算数、音楽、図画工作、特別活動の実践例が取り上げられています。

## シリーズ 研究授業の目 12のポイント 1

### 授業のねらいは何か

「教員は学校で育つ」といわれています。各学校では校内研修を重視し、研究授業を実施しています。授業を相互に見合っ、授業について協議し、授業力を高めるといった研修スタイルはわが国固有の優れた授業力向上策だといわれています。

参観者が研究授業を参観するとき、まず確認することは本時のねらい（目標）は何かということです。その内容は学習指導案に書かれています。

指導に当たって設定される目標は、単なるお題目でも飾り物でもありません。授業者には、その目標をすべての子どもたちに実現させるという重要な意味があります。厳しくいえば、指導の結果が問われるということです。

指導に当たって掲げられる目標は、

実現可能で実効性のある内容が求められます。その教科の目標や教材の趣旨に合致しているか。子どもの発達段階に適合しているか。1単位時間の指導で実現できる内容か、などの観点から吟味する必要があります。

授業の参観者は、子どもたちが目標にどのように近づいていくか、すべての子どもが実現しているかなど、指導の過程を観察しながら、指導の結果を見届けています。このことは、授業での子どもの発言や行動、ノートの記述などをとおして評価されていることを意味します。これは子どもの学習の評価であり、教師の授業の評価です。

どのような内容の目標を設定するかということは、それにもとづいて計画される指導と評価のあり方や方法を大きく左右します。それだけに十分に吟味・検討して設定したいものです。

## INFORMATION

### 大好評 新学年へのパスポート 〇年へGO!



〈漢字・計算〉



〈国語〉



〈理科〉



〈社会〉

教科で選べるしあげ教材 ※写真は4年の例



## 編集後記

今月号からの新連載、「学校の危機管理」「研究授業の目—12のポイント」、いかがでしたか？ いずれも先生方の日常に密着した内容です。今後1年間、北先生に明快に解説いただきます。お楽しみに。(F記)



企画・編集：ぶんけい教育研究所  
発行：株式会社文溪堂  
発行日：2016年11月1日